



- ①② 個性的な石張り風。シンプルモダンなタイル風。同じ空間で比べると、壁のテイストの違いで雰囲気が変わることがわかります。
- ③ 白一色の壁も美しいのですが、色を加えることで家具やグリーンとの間に魅力的なコントラストが生まれます。
- ④⑤ 大胆な柄にチャレンジしやすい寝室。ベッドのヘッドボードとしてアクセントウォールを使ってみるのもアイデアのひとつです。



ACCENT WALL



「壁」と「窓まわり」の プチリノベ術で、 気分もリフレッシュ。

わが家で過ごす時間、家族と過ごす時間が増えた
今の暮らしに合わせて、空間づくりをしたい。
でも、本格的なリノベはもう少し後で…、という方におすすめなのが、プチリノベ。
とくに壁や窓まわりは面積が大きいので、ちょっとした工夫でイメージチェンジが可能です。
気分も新たに、より豊かなおうち時間を楽しんでください。

+ イマドキ リノベの 処方箋 12

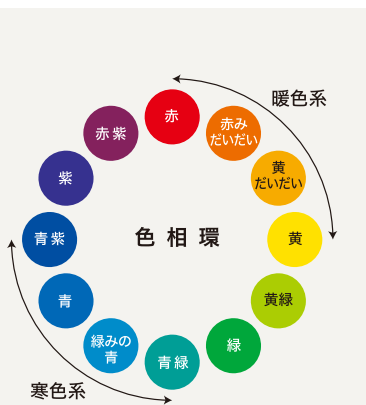


手軽に印象を変えるなら アクセントウォールを

空間の約70%を占める床・壁・天井をどんなテイストにするかで、住まい全体の印象がガラリと変わります。ただ、床や天井に手を入れるのは、なかなかハードルが高いですね。そこでおすすめなのが、部分的に壁の色や素材を変えるアクセントウォール。最近人気が高まっているリノベ・テクニックのひとつです。個性的な柄や大胆な色を取り入れやすく、空間にメリハリが出るため、イメージアップにもつながります。

お気に入りの色にしたい、という方はぜひ「色相環」を参考にしてみてください。ソファやカーテンなどファブリックとの相性も考えながら色選びをすることで、よりクオリティの高いカラーコーディネートとなります。また、今ある壁紙を貼り替えずにそのままから塗装できるペンキ(※もある)ので、DIYが得意な方は挑戦してみてください。

*壁紙の種類によって使用できない場合もあります。事前に商品情報をご確認ください。



- まとまりのある配色**
同系色：同じ色で、色の明るさや鮮やかさの異なる色同士の組み合わせ
類似色：色相環における左右2つくらいまでの色同士の組み合わせ
- きわだつ配色**
反対色：色相環で向かい合わせになる色同士の組み合わせ(補色)
- NGの配色**
色相環で90°の位置にある色同士の組み合わせ

お気に入りのアートをセンス良く飾る

壁に絵を一枚飾るだけで、わが家らしい空間になったり、気持ち豊かになったり。そんなアートもプチノベの強い味方。作品そのものの魅力を活かす意味でも、インテリアとして「フォーカルポイント（インテリアの見せ場）」を作る意味でも、センス良く飾りたいものです。飾り方には主に1点型と複数型の2パターンがあり、一般的に、大きめの絵を1点だけ飾ればダイナミックでモダンな雰囲気、小さめのものを複数組み合わせれば個性的でカジュアルな雰囲気に仕上がります。気を付けたいのが、飾る位置。目線の高さよりやや低め、絵の中心を床から140〜150cmに設定すると、バランスよく見えます。



DISPLAY



⑥ソファの後ろの壁を活かして。横に広がる壁には横型の絵を、縦に広がる壁には縦型の絵を飾るとバランスがよく見えます。

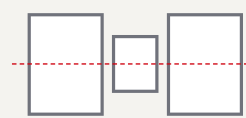
⑦ワークスペースにもアートを。同じタイプのフレームを連続させることで、空間に心地よいリズムが生まれます。

⑧オープンにつながる2つの空間。異なる絵でも色調を揃えることで統一感が出ます。ファブリックの色合わせもいっしょに。

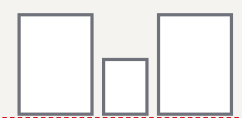
⑨遊び心いっぱいのカラフルなウォールステッカーは、子どもたちにも人気。

⑩自由な発想でディスプレイを楽しみたい方には、パンチングボードもおすすめです。

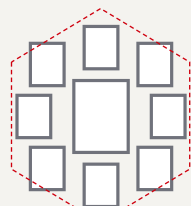
上手な飾り方の例



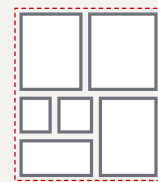
サイズが違う絵の中心を揃える
串の字型



サイズが違う絵の下側を揃える
行列型



全体で丸や菱形などを形作る
アート型



大きさの違う絵を規則正しく並べる
住宅街型

デザイン×機能で選ぶ窓まわりの演出

カーテンやブラインドなど窓まわりの装飾・演出のことを総称して「ウィンドウトリートメント」と呼びます。最近では開口部を大きく取る住まいが増えてきていることもあって、室内外から見えるウィンドウトリートメントの存在感はますます高まっています。インテリアとしての装飾性はもちろん、自然光の調整や遮光、外からの視線のコントロール、

室温の調整といった役割や機能があるため、プチノベの際は、日射しの向きやその空間の使い方など、さまざまな視点からきめ細かく検討しましょう。

最もよく知られているウィンドウトリートメントと言えばカーテンですが、その他にも多彩な種類があり、空間にもたらす印象も異なります。仕上げたいインテリアのイメージにぴったりのスタイルを見つけてください。



①生地デザインが活きるフラットカーテン。カーテンレールなど細部にもこだわってスタイリッシュな空間に。

②シャープな印象の空間を目指すなら、スラット(羽根)を縦に吊り下げたパーチカルブラインドがおすすめ。

③布にプリント加工を施したプリントスクリーンは、どんなテイストにも調和するレースのような風合いが美しいスタイルです。

④ひもを引くとたたみ上がるシェード。繊細なレースと遮光性の高いドレープを2枚重ねることで光の量を調節します。

⑤ロール状に生地を巻き取って上下に昇降させるロールスクリーン。すっきりとしたインテリアに仕上がります。

⑥オフィスに使われるイメージが強かったベネシャンブラインドも、最近ではデザイン性の高いものが増えています。

WINDOW TREATMENT

小物をアクセントに

タッセルやカーテンレールも最近ではさまざまな素材やデザインのものがあり、自由に組み合わせることができます。インテリアの効果的なアクセントになるので、プチノベの完成度が一段とアップします。

